



「超我の奉仕」

2005-2006 年度国際ロータリーのテーマ
RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第 2640 地区ガバナー 平尾寧章



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1428 回例会 18 年 1 月 30 日(月)

於 海南商工会議所 4F 12:30 ~

1. 開会点鐘 会長 塩崎博司
2. ロータリーソング 「超我の奉仕」
3. ゲスト紹介

慶風高等学校長 田原サヨ子様
(和歌山アゼリア RC)

4. 出席報告

会員総数 74 名 出席者数 53 名 出席免除会員 2 名
出席率 73.61% 前回修正出席率 84.72%

5. 会長スピーチ

会長 塩崎博司



みなさん、今日は。梅のつぼみもふくらみかけてきました。今年の寒さもあと暫くの辛抱だと思えます。本日のゲストは、慶風高等学校長の田原サヨ子先生です。田原先生はわが国の次代を担う若者について、社会問題である「不登校とニート」についてお話いただきます。

さて、2月4日には、2組 IM が開催されます。部門別会議は、ロータリー財団委員長会議 米山記念奨学会委員長会議 フレッシュ会員の集い、職業奉仕委員長合同会議となっています。また、基調講演は、海南第三中学校の今川校長先生が「中学生の職業体験」について話されます。全体会議は「超我の奉仕」をテーマに各クラブから5分程度の発表があります。皆様のご参加をお願いします。

6. 幹事報告

例会臨時変更

那智勝浦 RC 2月2日(木) 1月29日(日)
10:00 ~ 体育文化会館
和歌山東 RC 2月23日(木) 2月23日(木)
18:30 ~ 和歌山東急イン
(創立47周年記念例会)

休会のお知らせ

和歌山北 RC 2月13日(月)

7. ゲスト卓話

「不登校生とニートについて」

慶風高等学校長 田原サヨ子様 (和歌山アゼリア RC)



みなさん、こんにちは。本日は卓話にお招きいただき有り難うございます。今日は「不登校生とニートについて」お話させていただきます。

ニートとは何か？

学習するでもなく、働くでもなく、訓練を受けるでもなく、引きこもっている若者(15歳~35

歳ぐらい。しかし、実際は若者だけではない)

日本の状況

100万人ともいわれています。

ニートの種類と問題点

積極的ニート 能力があるのに単に怠けている者

消極的ニート 能力に劣るため、努力しても活躍するチャンスに恵まれない者

5段階評価では2ぐらいの生徒の問題点。一生懸命やっても気が利かない。職業選びのミスマッチ。

ニート以前の問題点

不登校 一過性のものであり、家庭での問題点がある。

フリーター 正式な職業(職業欄に書けない)でない事を教えるべきである。

ニートの問題点と解決策

仕事、職業、働くということ。ビジネスとは何か？自分の気分、都合で働くものではない。例えば、注文を受けたものを納期までに収めることが信用であり事を教えるべきである。

自分の都合に合わせてくれない社会が悪いのではなく、社会に自分を合わせるべきである。ビジネスの厳しさを教える。

最後に日本の今日の問題点は、過疎化、少子高齢化、人口減少(和歌山県は第2位)です。しかし、データには出ていませんが不登校の急増、高校中退

四つのテスト

真実かどうか 好意と友情を深められるか
みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 塩崎博司 幹事: 木地義和 SAA: 山畑弥生

生の増加、ニートの急増など私たちが取り組まなければならない問題点は沢山あります。今後、私たちは協力して、ちゃんと納税できる若者を育てていかなければなりません。

8. 次回例会

第 1429 回例会 平成 18 年 2 月 6 日 (月)
16:30 ~ 海南商工会議所 4F
「新入会員歓迎会」

*** ニコニコ・BOX ***

吉田 昌生君	日頃、敬愛しています田原先生、卓話ご苦労様です。
土井 元司君	田原先生、ようこそいらっしゃいました。よろしくお願いします。
小椋 孝一君	田原先生、卓話有り難うございます。
塩崎 博司君	田原先生、本日はお世話になります。宜しくお願いします。
木地 義和君	〃
山畑 弥生君	〃
中尾 享平君	昨日は KF 会のみなさん、ご苦労様でした。
吉野 稔君	新品会、KF 会、楽しく過ごさせていただきました。
荻野 昭裕君	
上中 嗣郎君	
楠部 賢計君	
谷脇 良樹君	
平尾 寧章君	
宮田 貞三君	
林 孝次郎君	



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

写真コンテスト

「超我の奉仕」を、どういう具合に被写体として捉えておられますか？ The Rotarian 誌がレンズを通して見た今年のロータリー標語を募集しております。 入選写真は The Rotarian 誌の 2006 年、6 月号に掲載されます。 「超我の奉仕」を 2005 06 に写した写真を出してください。 青少年交換？

クラブプロジェクトで子供の一生が変わった？
僻地で働く同僚のロータリアン？ 貴方の創造性と底力を発揮した写真を御送り下さい。

応募の締切は 2006 年 2 月 28 日 2359 分 (米国中部標準時) です。応募資格は全ロータリアンでハイレゾリューション デジタル写真をオンラインで送って下さい。尚、応募作品は全て The Rotarian 誌に所有権が移り、作品は応募者へ返送致しません。

入選作品は The Rotarian 誌の 6 月号に掲載されません。応募規定、其の他は次を御覧下さい。

</newsroom/rotarian/photocontest/photohandler.php>

南アジア、中東でポリオ撲滅に向けて

南アジアの数万人のロータリアンたちは、2004 年に発生した津波災害からの復興に向け尽力をしましたが、この間もポリオのない国づくりのため、さらなる活動を展開しています。昨年 11 月には、インドとパキスタンのロータリークラブが、ポリオ撲滅に向け、大規模な活動を展開。パキスタンで 11 月 22 ~ 24 日、2,900 万人以上の子どもたちを対象に全国予防接種日 (NIDs) を実施しました。これら活動の結果、パキスタンと隣国のアフガニスタンでは昨年、ポリオ発症件数が 28 件と、2004 年の 5 割減。インドではポリオ流行期 (8 ~ 10 月) の発症件数が昨年 25 件で、2004 年の 68 件、2003 年の 79 件と比べ、大幅減となっています。



また、昨年 12 月初めにメッカで開催されたイスラム諸国の会議で、サウジアラビアはポリオ撲滅のため 266 万米ドルを寄付することを発表しました。サウジアラビアは、ナイジェリア北部での経口ポリオワクチンのボイコットを中止させる調停と、サウジ入国者のワクチン投与を確認。サウジ政府がホスト役を務めたイスラム諸国会議機構 (OIC) の共同宣言 (12 月 8 日に発表) の中でもポリオ撲滅の重要性が強調されました。

財団の未来を描く委員会



ロータリー財団未来の夢委員会は、将来を展望して、財団が取り組むべき焦点と組織体制の長期計画を立案しています。フランク J. デブリン財団管理委員長が率いるこの委員会は、現・元財団管理委員、元 R I 理事を含む 7 人の委員によって構成されており、田中作次元 R I 理事も委員です。

同委員会は、財団の効率化と簡素化についての意見をオンラインなどで広く求め、今年中には、計画案が提示、承認される予定です。デブリン委員長は、「この委員会の活動は、世界の生活の質を高めるために行動するロータリークラブを支援し、財団が激変する時代に対応できる態勢を整える上での布石になります」と言っています。